



成果指標				
成果指標	活動実績			
指標設定の考え方	核家族化・コミュニティの希薄化により、活動実績(利用件数)の増減が機能しているかのバロメーターとなるため、この指標を設定した。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標28年度
目 標	500	900	900	900
実 績	543	983	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	仕事と子育てを両立する上での子育て支援策として重要な事業で利用件数も増えており、今後も制度の周知に努めていく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	仕事と育児の両立を支援することを目的とした事業であり、近年働く保護者が増え、利用者も増加傾向にあります。引き続き情報の提供を行い、利用者支援を行いたいと考えます。また、子育てに関する情報提供・相談・子育てサークルの育成に重点をおき、地域で子育てを推進していく体制づくりを構築して行きたいと考えます。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。
意見、課題	活動実績も上がっており、引き続き制度の周知を図り、会員並びに利用者の拡大を目指す。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	さらに重点化する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ、さらに重点化すること。